

第62回山形県スポーツ推進委員研究大会 <6月22日(土)>

## 県内各地から参加！スポーツ推進委員の充実した研修会

庄内町八幡スポーツ公園と庄内町役場を会場に山形県スポーツ推進委員研究大会が開催されました。

午前中は表彰式を含めた開会行事と基調講演が行われました。基調講演では元東洋大学陸上競技部主将で、大学3年時に箱根駅伝を走りゴールテープを切った庄内町在住の齋藤貴志さんを講師に迎え、「箱根駅伝から得たもの」というテーマで講演をしていただきました。華々しい活躍の裏に隠された怪我との戦いや、エースに頼らずチーム全員で勝利を目指すことの大切さを話していただきました。

午後からは4つに分かれて研修が行われました。

- ①アダプテッドスポーツ (障がい者スポーツ)
- ②ウォーキングフットボール (歩くサッカー)
- ③ヘルスアップトレーニング (健康体操)
- ④初任者研修 (スポーツ推進委員1年目の方の研修)

実技を中心とした研修内容で、笑顔あふれる充実した研修となりました。県内35市町村から300人も参加があり、大規模な研究大会になりました。庄内地区のスポーツ推進委員の皆様を始め、本研究大会にご尽力いただいた方々のおかげで大成功に終わりました。ありがとうございました。

(担当：小関)

<開会式>



<基調講演>



<アダプテッドスポーツの卓球バレー>



<アダプテッドスポーツのゴールボール>



<アダプテッドスポーツのフライングディスク>



<ウォーキングフットボール>



<ヘルスアップトレーニング>



<初任者研修>



- ・地元素晴らしい実績ある方がいることを知ることができて良かったです。(基調講演)
- ・特にアダプテッドスポーツの卓球バレーが面白く、自分の町でもニュースポーツ教室で行いたいと思いました。有意義な研修でした。
- ・ウォーキングフットボールは冬でも体育館でもできるので普及していきたいと思っています。
- ・ヘルスアップトレーニングはゆるやかに柔軟性がアップした感覚がありました。講師の進め方や話術が最高に良かったです。
- ・初任者研修では初めての方とのディスカッションでしたが、たくさん意見が聞けてよかったです。

第1回放課後子ども指導者等研修会 <6月11日(火)>

## 子どもたちの放課後を より充実したものに！

標記研修会では、実技と講義の中から参加者が2つを選択し、受講しました。

- ①講義「保護者との関係づくり」伊藤直樹先生(田川保育園長)
- ②実技「リサイクル工作」有路宏司先生(サイエンスインストラクター)
- ③実技「仲間づくりゲーム」佐藤祐介先生、板垣由美子先生(金峰少年自然の家)
- ④実技「運動遊び」後藤良先生(みなスポ松山クラブマネジャー)

120名を超える多くの皆様から参加していただきました。子どもたちの放課後がさらに充実したものになり、子どもも大人も笑顔になる活動が展開されることを願っています。



「児童一人ひとりとの信頼関係の構築が、保護者からの信頼につながることを学んだ」

「より良い作品を作る工夫も教えてもらったので、子どもたちと一緒に試行錯誤して遊びたい」



「仲間づくりゲームを体験するだけでなく、ふり返し、一般化し、応用するとさらによいものになることを学んだ」



「子ども同士が体を動かして楽しむことでコミュニケーションが生まれ、仲間意識も深まる。運動遊びはとても大切だと思う」

(担当：高橋)

家庭教育支援フォーラム① <6月27日(木)>

## 怒りの感情と上手に付き合おう ～アンガーマネジメントで自分も相手もハッピーに～

県家庭教育アドバイザーの須藤好子先生を講師にお迎えし、怒りの感情の正体やコントロールの方法など、アンガーマネジメントの基本を学びました。様々な立場の方にあてはまる内容で、参加者にとって充実した時間となりました。

【参加者の感想】

- ・自分の日頃の怒りを客観的に考えることができ、今後の対応を考えたり改めたりするいいきっかけとなりました。
- ・グループワークで他の人の意見やお話を聞いたことで、「自分だけじゃないんだ」と安心できた場面が多かったです。
- ・子どもを相手にする仕事なので、接し方、感情的な子についての理解が深まりました。今日学習したことを仕事に活かしていきたいと思えます。



(担当：齋藤)



庄内教育事務所 社会教育課  
【公式】Instagram  
各種研修会、事業等の情報をお届けします。



庄内地区社会教育情報  
ホームページはこちらから →

